

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100051
事業所名	グループホームえがおⅡ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入している。地域密着事業の「えがおカフェ」は現在も感染症対策で中止しているが、状況が改善した際にはいきいき支援センターと協働して再開する予定である。地域住民とは散歩時に挨拶を交わし、地域の一員として暮らしを継続している。コロナ前まで恒例だった区作品展の出品や高年大学のボランティア再開も、今年度は実施に向けたいと期待している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は年6回の開催し、コロナ感染状況から主に社内での開催となったが、対面での開催も実現させ、運営状況の周知、意見交換等で交流を深め、連携体制を深める事ができた。会議の際には「名古屋弁体操」等、普段の取組みを実施して見せたり、日常の様子を写真で周知して、ホームの取組みへの理解を得られている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区窓口には、介護保険手続き等必要に応じて書類を郵送しているが、何かあれば電話等で相談して運家に役立てている。市窓口には、感染時対応や補助金等の相談や問い合わせをして連携を図っている。市町村主催の研修への参加があり、研修後は社内で報告会をして職員育成に繋げている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） I階玄関に意見箱を設置している。何かあれば電話で報告し、又接の相談や家族の意見は取り入れる様に努めている。入居間もない利用者に対し家族と連携を図り、今まで通りの生活習慣を継続できる様に意向や希望に添った居室環境を整え、利用者や家族への信頼構築に繋げた。一人一人の思いを汲み取り、意見や要望を生活に反映する様、支援する姿勢が見られる。定期的にお便りを作成し、日常の様子や個人写真、コメントを添えて伝え、家族の安心に繋がっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			×	×	○	○	○	○	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	×	○								